

Bさん

(2009年3月アンケート記入)

#### 留学先について

学校名: Escuela Nacional de Pintura, Escultura y Grabado “La Esmeralda” (エスメラルダ大学)

専攻: 美術

課程: 学士 (Licenciatura) / 私費留学

留学期間: 1996年9月～2002年6月(その間1年間休学)

#### 留学の動機

なぜメキシコに留学しようと思いましたか？

なぜ他のスペイン語圏ではなくメキシコを選びましたか？

尊敬する芸術家の出身校がエスメラルダ大学だったことが最も大きな理由でした。

#### スペイン語の勉強方法

日本でスペイン語をどのようにして勉強しましたか？どの勉強方法が一番効果的だったと思いますか？

語学学校に週一回程度通い、勉強しました。英語を自己学習していた時期があり、その経験から思うことは、少しずつでも毎日やったほうが良いということです。私が日本でスペイン語を学んでいたときは、社会人として働いていたので忙しく、週に一度クラスに通うのが精一杯でした。語学学校へ週何回か通いながら、その間にラジオなどを利用したりして自分で勉強する、というような方法が良いのではないかと思います。しかし何よりもそれを続けるための強い動機付けが一番大切なのではないかと思います。

#### 現地の学校への問い合わせ

学校へはどのような手段で連絡を取りましたか？その際に困ったことはありましたか？それをどのように解決しましたか？

私はメキシコにいたので直接何回か学校へ行って問い合わせをしました。

#### 出願

出願時にどのような書類をどこに提出しましたか？書類を準備する上で苦労したことはありましたか？それをどのように解決しましたか？出願から正式な許可書を受けとるまでに、どのくらい時間がかかりましたか？

中学校と高校の成績証明書を求められました。また、スペイン語訳が必要な書類全てにアポステイーユを添付しなければならなかったため、日本にいる家族に頼んで取得してもらいまし

た。

学生募集の発表が現地の新聞に掲載されてから実際の出願書類の提出締切日まで日数が少ないので、外国人で入学を希望する人は前年度の必要書類を確認したり実際に学校に問い合わせをしたりして、早めに準備をしないと間に合わなくなると思います。

私の場合、2 月頃に出願の書類のことを聞きにエスメラルダ大学の事務所に行き、書類をそろえる準備を始めたのですが、その後 4~5 月頃の新聞での学生募集の発表の前に再度確認のため事務所に出向いた際に足りない書類があることがわかり、かなりあわてて書類をそろえた記憶があります。

JASSO 注:2009 年 2 月調査時点では、学生が直接大学を訪問して情報収集することは推奨されていないとのことです。

### 出願・入学資格

現地で入学試験を受けましたか？どのような教科の試験を受けましたか？

当時は入試期間が 7 日間ありました。1 日目に 1 時間程度の美術史全般の筆記試験。その後ドローイング、平面、立体の 3 分野の実技試験がそれぞれ 2 日ずつ(1 日数時間)ありましたが、今は入試内容が変わっているので確認が必要です。

### 滞在許可の取得

どこで滞在許可を取得しましたか？

入国後、現地で取得しました。

申請時に提出を求められた書類にはどのようなものがありましたか？申請料はいくらでしたか？申請から取得までどのくらいの日数がかかりましたか？

学生ビザを取得するためには学校からの入学許可書が必要です。そのため、試験に合格するまではツーリストビザで滞在し、その後学生ビザに切り替えるといった手続きが必要になると思います。メキシコではビザの切り替えのために出国する必要はありません。

経済的に自立していることの証明として、クレジットカードのコピー、そのほかパスポートのコピー、といった書類を提出する必要がありました。

### 保険・医療・予防接種

どのような保険に入っていましたか？保険料はいくら払いましたか？留学先(大学など)が指定した保険に入りましたか？日本でどのような予防接種を受けましたか？

保険は、クレジットカードに付帯している、日本を出てから 3 ヶ月間有効の海外旅行保険で、皮膚の発疹や眼の痛みに対する診察費用を賄ってもらいました。予防接種は必要ありませんでした。

留学先のエスメラルダ大学では、メキシコ社会保険庁(IMSS)の総合医療保険に無料で加入

しました。私は階段を数段ふみはずし、学校から市中の病院へ行ったことがあります。この保険が適用されました。風邪や眼科、ちょっとした傷の治療は近所のクリニックへの通院で十分でした。手術が必要となる怪我・病気の場合には、私立の大きな病院で治療してもらおうと安心ですが、その場合には高額な医療費が必要になる場合があります。病気・怪我の際にはどうしたらいいか、という情報は必ず現地で日本人等から聞いておく必要があります。

## 学校生活

現地の授業と日本の学校(大学)の授業の進め方に違いはありましたか？教授・先生の教え方や授業内容に満足していましたか？

実技に関しては、先生とよく話をして進めていく、という形態でした。

講義に関しては、種々の美術史のほかにアート・セオリーという理論の科目があり、それは制作をより強いものにするという趣旨の授業で、哲学者や社会学者の理論を学びながら自分の制作に応用していく、というものでした。これは卒業論文につながっていく内容の講義です。

授業の準備はどのようにされましたか？予習・復習にどの程度時間をかけましたか？日本で学んだ語学力は充分でしたか？

講義の内容は、日本で学んでいた語学力だけではとうてい理解できないものでした。

制作に関しては日本で学んだことがベースとなり問題なく授業に参加できましたが、理論の講義内容は最初はほとんどわかりませんでした。それでも 5 年間で語学力も向上したので、かなり楽になりましたが、完全に授業の内容を理解するレベルには至りませんでした。

授業以外に勉強する際、どんな場所を利用しましたか？学校の施設は充実していましたか？

2002 年までの在籍時にはコンピュータールームなどというものはありませんでしたが、現在(2009 年)は数台のパソコン、スキャナーとプリンターが図書室にあります。エスメラルダ内の図書室には本があまりないので、芸術系の大学の統括組織である国立芸術センター(CENART)の図書館を利用して調べものをしていました。それでも情報が不十分なときにはメキシコ国立自治大学の研究機関まで調べに行ったこともありました。

画材などはどこで調達しているのかほとんど分からず、メキシコ人の友人たちに聞きながら少しずつ覚えていきました。

授業以外での学校の施設の利用といえば図書室(館)くらいでしょうか。授業の後は、ほとんどの時間、アトリエで制作に打ち込んでいました。

試験はどのように行われましたか？試験対策はどのようにされましたか？

実技に関しては、授業への参加と提出した作品の質で評価されました。理論の方は、提出したレポートで評価されました。西洋美術史など、授業中に試験があった科目もありました。

試験対策としては、授業中のノートを復習しました。

プレゼンテーションスキルやレポート(エッセイ)作成の際の文法チェックなどの語学サポートは大学で用意されていたか？ 用意されていない場合は、どのように対応していましたか？

国立芸術センター(CENART)全体で、redaccion というスペイン語の文章の書き方に関する科目が用意されていたようですが、その授業を受けるための語学力すら不足していたので、先生からは、それに参加するよりとにかくスペイン語の文章をたくさん読みなさい、といわれていました。文章の作成や文法チェックは友人にかなり助けてもらっていました。

学校全体やクラスで、留学生の割合はどのくらいでしたか？ 留学生の中で、日本人の割合はどのくらいでしたか？

私がエスメラルダ大学に入学した 1996 年は、一学年 60 人で、外国人留学生は私と南米からの 2 人でした。他の学年には中南米出身の正規学生が数名いました。また、日本人の正規留学生の数は 1996 年から 2009 年現在で延べ数名程度です。京都の大学との間に交換留学制度があったので、その大学から学生が合計 5 人来ていました。私が学校を卒業した後は、日墨研修生・学生等交流計画を通じて日本人留学生が来ていたようです。

現地の学生とどのようにして交流を深めることができましたか？ 大変だったことはありましたか？

授業を通して仲良くなっていきました。また、同期の友人宅へ遊びに行ったり、グループ展をしたりしました。

大変だったのは、一緒に芸術作品を制作していくときにものを扱う感覚が違っていたことでした。同じものを一緒に使って制作していく場面がどうしてもあるので、それまで自分が持っていた「もの」に対する感覚を主張するとお互いの意見がぶつかるため一緒に何もできなくなってしまう、ということなり、我慢と主張のバランスをどのように取ったら良いかという点で、少々大変でした。これが異文化交流というものなのだと思います。

日本人留学生とどのように接していましたか？ 大変だったことはありましたか？

大変だったのは、入学を考えている方々からの質問が私一人にふりかかってきてしまった時期があり、それが負担になったときがありました。

日本人学生同士ですと、みんな学年が違っていましたし各自が自分の授業で大変だったので、日本人留学生同士という関係はあまり意識されていなかったと思います。

他国の留学生とどのように接していましたか？ 大変だったことはありましたか？ 指導教官とのやりとりで大変だったことなどはありましたか？

指導教官とのやりとりで大変だった経験が一つあります。理論のクラスでのことです。

卒論に向けての予備学習といった趣旨の理論の授業で、自分の制作に関する文章を提出した際です。自分の経験をもとに制作する作品なのですが、その経験があまりにも生々しくて言葉にできない時期があり、人に言えない、言いたくないこともある、といったことを書いて提出したところ、先生から、言いたくないということだけど、それだったらどうやって私はあなたの考えを知ることができるのか、どうやってあなたを評価できるのか、と先生に言われ、“評価できない”という点数をもらいました。そこで初めて自分の説明が不足していることを理解し、どうして人に言えないことがあると考えるのかを自分なりの言葉で丁寧に説明をして再度文章を提出し、評価をしてもらった経験があります。

私たちは言葉で他者に伝えるという経験をあまり持たないまま育っていく場合が多いと思います。それでは自分の考えもしっかり持てないと考え、外国で勉強する意義をそこに見出していたのですが、まさにこのときに実感を持ってそのことを自覚したのです。

#### 現地の食事情

普段はどのように食事をされましたか？現地の食事・食材で苦労したことはありましたか？日本の食材を手に入れることはできましたか？

自炊をしていました。

メキシコシティには、スーパーがそこかしこにあるため食材には困りません。日本食材店が多くあるので、日本の食材を入手することもメキシコシティでは容易です。

#### 留学費用・お金の送金方法・管理方法など

学費以外の生活費(住居費、食費、光熱費、教養・娯楽費など)は、1か月または留学期間全体で、だいたいどのくらい必要でしたか？

生活費は現在、電気が月 1,000 円、ガスが月 1,000 円、水道は月 300 円、電話代はインターネットをすると基本料が月 5,000 円前後(携帯や長距離通話は別料金)、といったところが目安になるかと思います。

住居費は市内で1部屋を借りると25,000円(光熱費込み)前後です。アパートを借りると、2LKで5万円前後でしょうか。

食費は外食をしても大してかからないのですが、節約して月15,000円前後かと思います。

書籍代は全般に高いです。映画が庶民の娯楽として楽しまれています。DVD レンタル屋も普及しています。交通費はシティでは地下鉄、バスなど1乗車50円以下です。長距離バスも日本よりは格段に安いし、長期休暇の間は学割を使って乗れるのでお勧めです。

お金をどのように管理していましたか？日本からの送金が必要な際、どのように送金してもらいましたか？

日本の口座のキャッシュカードを使い、お金を下ろしていました。残高によっては、海外で使っても手数料が無料の口座もあるので調べるといいでしょう。

## 医療

現地で病院にかかられたことはありますか？大学内の医務室や付属病院で医療サービスを受けることは可能でしたか？

上記「保険・医療・予防接種」の項を参照してください。

## 現地での各種相談先 / 支援組織

相談先の案内は事前に知らされておりましたか？学校内・学校外で問題があったとき、誰に相談しましたか？住居などについて支援を受けられるような学生互助会(自治会)などありましたか？その支援を受けましたか？

学校の組織としてそういった相談の窓口があるのかどうか知りませんでした。エスメラルダ大学の事務担当の人たちには何でも相談していました。困ったことがあって Direccion と呼ばれる大学事務局に行くと、相談相手として適任の方を親切に教えてくれました。

学内外での相談は経験のある日本人の友人や知人、または学校の同級生にしていました。住居の支援については、大学で提供されているかどうかわかりません。私は自分で“お部屋貸します”という看板を頼りに探したり、あとは知人に紹介してもらったりして入居していました。

## 治安

現地の危険地帯情報をどのようにして収集しましたか？現地でどのような防犯対策をしていましたか？盗難などを含む犯罪に巻き込まれたこと(または聞いたことは)ありましたか？その際どのように対処しました(と聞きました)か？

情報収集は現地での日本語コミュニケーション誌、友人・知人を通じて行いました。また、在メキシコ日本大使館が治安情報を提供しています。

防犯対策としては、夜は一人ではパーティーには行かない、注意力散漫で歩かない、知らないところへ行くときは事前に調べてから行く、地下鉄など混んでいる時には貴重品は自分の前面で持つ、などが挙げられます。また、住居のドアの鍵は複数ついているかどうか確認してから入居するか、なかったらつけてもらうよう大家さんに頼む、といった対策も重要です。

盗難や強盗は頻繁に起こっていますので、遭遇したらどうするか、ということ自分を想定して、クレジットカードやキャッシュカードの休止の方法、海外旅行保険の連絡先などを事前に確認しておく必要があります。

## 通信関連

パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)などの現地での利用はいかがでしたか？

メキシコシティではパソコン、携帯電話、インターネットは普及しています。



## 帰国後の進路

あなたの留学経験は現在の仕事・学業にどのようにいかされていますか？

私の作品制作は、エスメラルダで学んだこと、そしてメキシコ滞在で得たことなくしてはありえない、と思っています。

## 後輩へのアドバイス

留学生活を送る際の注意点と、これから留学を考えている後輩への助言をお願いいたします。

正規に入学をしたいと考えている場合には、入学に必要な書類をしっかりとそろえる必要がありますので、事前にきちんと情報を集めておかないといけません。メキシコの場合、日本にいながら情報を収集するのが難しい面があると思われます。物事が予定通りに進まないこともよくあり、それがメキシコの魅力である反面、時には手間がかかってしまうので、できる限り丁寧に準備をしていった方がいいと思います。もし可能なら事前に一回情報収集に出向いてから準備を始めたほうがスムーズに行くのではないかと思います。情報収集のため、現地に出向く際にも面会の約束を取り付けるといいでしょう。学長が変わると学校の運営方針が変わることがありますし、それ以外にもいろいろなことがよく変わります。特に時間の制限がある場合には、慎重に準備をしていった方がいいと思います。

なお、自分が考えていることを相手に伝える術も最小限持ち合わせていないと、入試の時の面接でうまく答えられなくなってしまうと思うので、面接が苦手だと思っている人は自分の制作に関する考え、物事に関する考えを言葉にする訓練を事前においた方がいいと思います。自分の考えを表現することは4年間(以前は5年だった課程が2008年から4年になりました)という課程の間、授業時には常に求められることとなってきます。